

平成 18 年度 秋期 情報セキュリティアドミニストレータ 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

設問 1

- (1) a - イ                      b - エ                      (順不同)
- (2) 下線 の対策 - 当該会員 ID を一時的に利用不可にする。  
下線 の対策 - ログオン時にログオン記録を表示する。
- (3) 新しいパスワードを生成し、会員登録時に設定された電子メールアドレスに送付する。

設問 2 書面を本人以外の者が見て初期パスワードが漏えいする。

設問 3

- (1) 配信不能の電子メールによる負荷増大
- (2) ランダムで十分な長さがあること
- (3) 購読解除の設定結果を利用者に電子メールで送付する。

講評

問 1 では、認証機能について出題した。認証の基本的な機能については、おおむね理解されているようであったが、認証機能の具体的な使い方や認証機能の不備から実際の現場で発生する問題点などの理解が不十分な受験者が多かった。

設問 1(1)は、ハッシュ化したパスワードの照合方法に関する設問であり、正答率は高かった。しかし、このハッシュ化して保存したパスワードのリマインド方法を設問 1(3)の出題した設問 1(3)の正答率は低かった。ハッシュ化したパスワードから元のパスワードを復元することはできず、“入力されたパスワード”を送付することができないことは、情報処理技術者の基本知識として理解しておいてほしい。

設問 3(1)は、正答率が低かった。メルマガサーバ以外で起こる問題を答えた誤った解答や、“他人が勝手に設定を行うことができる”のように問題文を抜き出しただけの誤った解答も多かった。情報セキュリティアドミニストレータは、セキュリティ機能の不備についての一般的な知識の習得にとどまることなく、情報システムに連鎖的に引き起こされる問題まで考察できる能力を修得してほしい。

\* .....\*

問 2

設問 1



- (2) “破棄時のログを採取する”に変更した上で、ICMP のパケットが破棄された時、それがログに記録されていることを確認する。

#### 講評

問 3 では、ネットワークの運用とセキュリティについて出題した。基本的な計算に関する設問以外の正答率は低く、ネットワークの運用状況を正確には把握できていないようであった。

設問 1(3)は、正答率が低かった。ワーム F の感染方法と L3 スイッチの設定から、Seg\_0 のファイルサーバが最初に感染したことが分かる。その上で、IP アドレスの第 4 オクテットが 254 で、利用可能な第 3 オクテットの最大値が正答となる。この設問のように IP アドレスの計算とセキュリティ事象の考察を組み合わせて考えるなどもう一步踏み込んだ知識や能力が不足している受験者が多かった。情報セキュリティにおいて、ネットワークは主要な技術の一つであるので、基礎的な事項については、応用できるよう理解しておいてほしい。

設問 3 では、視点の切替えを必要とする設問とした。すなわち、ネットワーク機器や LAN ケーブルなどへの物理的な対策が実施されている場合に、視点を変え、それら以外で起こり得るリスクとして、既に接続されている正規のホストを悪用する具体的なケースを問うものであった。

\* ----- \*

#### 問 4

設問 1 a - カ b - 工

設問 2 項目の番号 - (8)

変更内容 - 許可社員の D 社メールアカウントとのメール送受信では、添付ファイルを削除しないようにする。

設問 3

- (1) ・ T を利用している PC の業務利用を禁止する。  
・ 業務に使う PC からの T の削除を義務化する。

(2) ウイルス対策ソフト及びそのウイルス定義ファイルを定期的にアップデートすること

設問 4 委託先との契約書に、セキュリティ要件の遵守を義務付ける事項を盛り込む。

#### 講評

問 4 ではファイル交換ソフトにおける情報漏えい問題について出題した。ファイル交換ソフトの問題は、プライベートな利用での事例が多いが、テレワークを題材とすることで、企業の活動における課題とした。問全体としては正答率が高く、おおむね理解されているようであった。

設問 2 は、正答率が低かった。K 社は L 社にメールサーバの運用を委託しているが、そのままのサービス内容では、本問で議論しているテレワークを K 社が行う際に、暗号化ファイルを送受信する仕組みの第 2 案に支障が起こる。それを見つければ正しい解答に至るはずなので、しっかり本文を読み取るようにしてもらいたい。

設問 3(1)と設問 4 は正答率が高かったが、個人の所有物に対する規制や、委託先に対する介入など、ほかの法令への抵触が懸念される解答が散見された。情報セキュリティアドミニストレータは、

＊ ＊ 平成 1 8 年度 秋期 情報セキュリティアドミニストレータ 午後 解答例 ＊ ＊

示現塾 プロジェクトマネージャ・テクニカルエンジニア（ネットワーク）など各種セミナーを開催中！！

---

開催日、受講料、カリキュラム等、詳しくは、<http://zigen.cosmoconsulting.co.jp> 今すぐアクセス！！

セキュリティレベルを高めることができるだけでは不十分で、企業活動や社会通念を踏まえて適切に判断できることが必要である。情報処理技術の基本はもちろん、法令等の基本知識についても身に付けていくよう心がけてもらいたい。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。